

金を下げる考えはないか。

島田課長 公営住宅法に基づいて家賃設定がされているため家賃を下げることはできない。

質問 一般会計予算の執行に当たり競争入札や随意契約で行うルールが存在すると思うが補助金の有無や単費の支払いでも異なると思うのでお聞きします。

町長 地方自治法により入札の方法が定められており、指名競争入札、随意契約ができる内容及び予定価格の上限は同法施行令で定められ、同法施行令の範囲内で町の契約規則にその金額が定められている。

島田課長 随意契約の考え方として地方自治法施行令で定められている金額を超えないものとなっていて、それぞれ契約の種類によって定められている。

質問 思ったよりも随意契約については金額が少し抑えられている感じがする。

次に道の駅構想について、一般の一般質問での答弁で町長は「道の駅構想ではなく拠点づくり」と言われま

したが、再度「ふるさと創生会議」を開催し道の駅構想の実現に向けて進む考えはないのか。

町長 まちの拠点に持たせる複合的機能について調整



無量谷 隆

・2期目の公約について

質問 町長の任期はあとわずかとなりました。「みんなの力で夢を育む街を」共に支え合い笑顔あふれる街を」を軸に6項目の重点施策を挙げました。①町民と行政の協働のまちづくり

(地域運営組織の活動支援とコミュニティづくり) ②夢と活力あふれるまちづくり(産業振興) ③心豊かな人と文化を育むまちづくり(生涯教育の推進) ④健やかに安心して暮らせるまちづくり(高齢者に対するのまちづくり) ⑤自然に恵まれた安全で快適なまちづくり(地域防災力の向上) ⑥

した上で創生会議開催に向けた準備を進めている。

まちへ新しい人の流れを作(地域おこし協力隊)これら重点施策について任期中の実績とその評価を尋ねます。

町長 幌延町の未来へ向け一人一人が主役となり、夢を育み、共に支え合い笑顔あふれる幌延町を作りましようを旗印に掲げ、町民の総力を結集して仕事づくり、人づくり、まちづくりを進め、人口減少に歯止めをかけ、地域を活性化し、夢を育むまちをつくることを基本ビジョンとしてきた。

町政執行にあたり、町民皆様と夢を語り合いながら

その声に耳を傾け、できるだけ町政に反映させていくことを心がけ、地域の人々が安心して楽しみながら住み、暮らし、働き続けられる環境づくりと、産業振興や人づくりなど、まちの未来に向けた投資やまちの魅力づくり、魅力がきを進めてきたつもりです。しかしながら幌延町の人口減少に歯止めをかけるまでに至っておらず、過疎対策を始め高齢化対応のまちづくりや、産業振興、まちの拠点、学校など公共施設の整備については課題として残っているもの、これらの課題を含めたまちづくりに真摯に取り組んできた。

質問 2期目が終わろうとしている中で、町長の考えとして1期目、2期目とやってきた事業に対していろいろとあります。そういう中で、3期目、立起表明はあるのか聞きたいと思えます。

町長 十一月十五日告示される任期満了の町長選に再度出馬準備をしている。

第4回

まちづくり常任委員会

9月1日

○保健福祉課所管

▽新型コロナウイルス感染症の町内発生状況等について

本町の感染者数は昨年度から累計で百89名。引き続き基本的な感染防止対策の徹底を心がけていただけるよう町民皆様への周知啓発に努める。

町内で感染者発生情報を告知端末で周知する際、5名を基準に「数名」または「多数」といった表現でお知らせしている。

ワクチン接種状況は9百3名が接種を完了している。(八月末) 接種対象年齢人口比で約43%。3回目接種完了者比で約55%。

オミクロン株対応ワクチン接種に総額で1千百8万五千円を増額補正として9月定例議会に提出する。

今後はワクチン供給スケジュールが決まり次第、国保健療所長と協議をしなが